

協会記事

理事会（平成 17 年度第 6 回）

平成 18 年 1 月 16 日（月）17：30～19：30，当協会役員室において開催。

出席：前島郁雄（会長），盛谷智之（副会長），大森博雄（副会長），江藤哲人，笠原順三，高村弘毅，田村俊和，西田耕一，長谷紘和の各理事（三上岳彦理事は欠席），嶋崎吉彦，田邊 裕の両監事及び事務局。

・議事録の承認：平成 17 年度第 5 回理事会議事録は承認された。

・報告事項：

1. 編集委員長報告：笠原理事

114 巻 3 号の通巻 1000 号記念特集号はようやく発行され，4 号は来週，5 号，6 号は 2 月中に発行予定で，年度内に遅れを取り戻すべく努力していると報告された。なお，編集担当職員が骨折のため，1 週間程度の入院が必要と診断され入院中である旨が報告された。

2. 行事委員長報告：三上理事欠席のため事務局長が代行，17 年度の海外巡検は行なわず，国内見学会は年度内に行いたいと報告された。

3. 図書委員長報告：江藤理事

12 月 1 日開催の委員会について報告された。協会の活動の活性化に役立つ地学雑誌バックナンバーの CD の全面公開を行なうべきとの意見が披露されたほか，保存方法，寄贈図書の処理などについて理事からの意見があった。

4. 会館委員長報告：盛谷理事

12 月に実施された消防設備点検の結果とそれに対する処置が報告された。

5. 広報委員長報告：江藤理事

12 月 12 日に開催された委員会について報告された。図書委員会と同じく，地学雑誌バックナンバーの全面公開を支持する意見が多く，NII を利用する方法と協会独自のサイトを使う方法を検討することになった。なお，委員長から兼任を解消して欲しいとの希望が表明された。

6. 将来計画委員長報告：田村理事

前回理事会で決められた大筋に沿った地球惑星

科学連合関連業務の扱い方について具体案が示され，承認された。また，分科会に関し運営会議議長に回答した会長の意見が報告された。

7. 日本地学史編纂委員会報告：高村理事

11 月 25 日開催の委員会についての報告があった。「戦後日本の地学」に関する 5 委員の原稿について検討されたこと，また，今井委員長からの希望で，石山委員を委員長代行にしたいとの報告があった。

8. 庶務担当事項報告：長谷理事

年末懇談会の結果等が報告された。

・議 題：

1. 会員の入退会について

入会申込者：高在権及び芝崎文一郎両名の入会が承認された。

逝去による退会者：小川賢之輔及び植田芳郎の両名。

申し出による退会者：榎根 勇，宮縁育夫，赤塚正美，荒巻 孚，木宮 繁，西東慶久，鈴木耐元，須田賢一，野間泰二，羽田 忍，堀越 叡，山下好幸，弓削田英男の計 13 名。

2. 庶務委員会関連規定の改正について

庶務担当理事から職員就業規則の一部改定及びそれに伴う関連内規の制定について案が出され，意見交換があった後，原案通り議決・承認された。関連して職員の勤務と健康管理，緊急事態の対策等について多くの議論があり，予定されていた他の議題は時間切れで次回送りとなった。

なお，次回理事会は 3 月 13 日（月）17：30 から開催することとなった。

理事会（平成 17 年度第 7 回）

平成 18 年 3 月 13 日（月）17：30～20：30，当協会役員室において開催。

出席：前島郁雄（会長），盛谷智之（副会長），大森博雄（副会長），江藤哲人，笠原順三，高村弘毅，西田耕一，長谷紘和，三上岳彦の各理事，（田村俊和理事は欠席，委任状提出），嶋崎吉彦，田邊 裕の両監事及び事務局。

・議事録の承認

平成 17 年度第 6 回理事会議事録は承認された。

・報告事項：

1. 編集委員長報告：笠原理事
114 巻 6 号はようやく刊行され、引き続いて 115 巻 1 号は 4 月 10 日頃刊行予定、2 号もほぼ原稿が揃い、遅れを取り戻しつつあると報告された。
2. 経理委員長報告：西田理事
3 月 5 日に満期の来る定期預金を、20 日発行の国債の購入にあてる旨の報告があり、了承された。
3. 図書委員長報告：江藤理事
2 月 24 日に開催された委員会について報告された。新しく協会発行の古い地質図を、保存のため CD 化する事業を始めることと寄贈図書の処分方法が決められたということである。これに対し、単行本より雑誌の処分の方が急がれるのではないかと意見があった。
4. 会館委員長報告：盛谷理事
会館地下にある受水槽に水漏れがおき、近いうちに修理する予定であるとの報告があった。また、2 月 20 日に開催された同理事が委員の一人であるジオエキスパート委員会についても報告された。一般向けの事業の PR と、人材の登録促進に注力することが決められ、また、ホームページの改良案も示された。
5. 助成委員長報告：大森理事
3 月末日を締切日として募集中の 18 年度助成金に対する応募状況が報告された。
6. 庶務担当事項報告：長谷理事
2 月 10 日開催された庶務委員会の内容（職員給与ほか）、15 日以上有病欠者に見舞金を送ったこと、NPO 法人 GUPI の主催する第 8 回国土政策フォーラム（第 1 回 GUPI ジオフォーラム）への後援を決めたこと及び学術振興会からの依頼にこたえ、科研費補助金審査員候補者に関する情報提供を、6 名の会員（地鉱、地理各 3 人）について行なったことなどが報告された。
7. その他
田邊監事らから地球惑星科学連合の分科会が未

発足であること、同連合と地理学及び地質学関連学協会連合との関係等についての発言があり、また外国では盛んなジオパークについて、日本の現状改善のために協会が何らかの役割を果たすことができないかなどの発言があった。

・議 題：

1. 会員の入退会について
入会申込者：谷 藤吉郎、井上正澄及び近藤久雄 3 氏の入会が承認された。
逝去による退会者：岡田 博、木内四郎兵衛の両氏。
申し出による退会者：鎌田泰彦氏が報告された。
2. 地球惑星科学連合教育問題検討委員会「教員養成と現職教員の研修を検討する小委員会」委員の選出について
候補者の専門分野について意見があったが、この件については次回以降にあらためて検討することとし、田村担当理事から提案のあった小泉武栄会員を当協会から選出することに決まった。
3. 編集業務の基本に関する共通認識について
笠原担当理事から業務を担当する職員の問題及び編集方針の問題の両点について委員長の考え方が示され、これについて議論された。
4. 職員給与について
長谷理事から庶務委員会での結論に従い、18 年度の職員給与は前年までのやり方を踏襲するとの提議があり、承認された。
5. 平成 18 年度事業計画及び予算について
長谷理事から事業計画案、西田理事から予算案が提案・説明され、質疑の後、計画に具体的数値目標を入れること（地学雑誌の年間総頁数）としたほかは原案のまま承認された。
6. 次回理事会、評議員会、総会の日程について
次回理事会は 5 月 8 日（月）17：30 から開催することとなった。
また、第 1 回評議員会を 5 月 27 日（土）12：30 から、引き続き第 128 回総会及び講演会を開催することが決定された。

以上